

平成 29 年度第 2 回企画展「人 貝にあう」で実施した投票の結果報告

沖田 絵麻

はじめに

平成 29 年 9 月 12 日～平成 30 年 1 月 8 日の期間に当館企画展示室で開催した企画展「人 貝にあうー人類と貝類の多様な関係ー」(図 1)では、人類がどのように貝を利用してきたかを、貝標本や工芸品などにより紹介した。そして、展示した貝 104 点について、観覧者に一番好きな貝に投票してもらい「KAI104 総選挙！」投票コーナーを設けた(図 2)。投票用紙には、展示の感想や要望も自由に書いて頂いた(図 3)。

最終的に 355 票が集まった。ここでは投票結果を報告するとともに、アンケートに書かれた感想をいくつか紹介する。

1. 投票結果

投票の結果は、表 1 に示した。1 位の優美な形態のテンシノツバサと、2 位のピンク色のハート形が可愛らしいインドアオイガイの人気が高かった。アンケートの筆跡から推測される性別年齢では、1 位・2 位は女性と子供に人気があった。男性には特に傾向は見られなかったが、あえて言えばオウムガイやゴホウラのような変わった形の貝に投票があった。

2. 展示の感想・要望

展示の感想で多かったのは、貝の種類の高さへの驚きや関心、貝の多様な形への関心であった。「おもしろい」「きれい」という言葉が多く見られた。当館の河村コレ

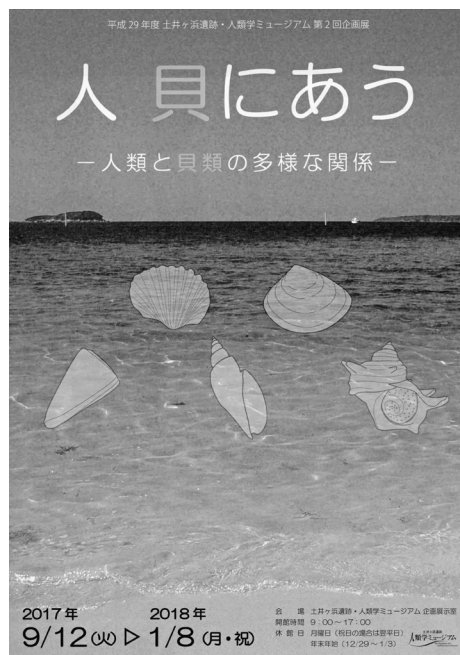


図 1 企画展の案内チラシ



図 2 KAI104 総選挙の投票コーナー

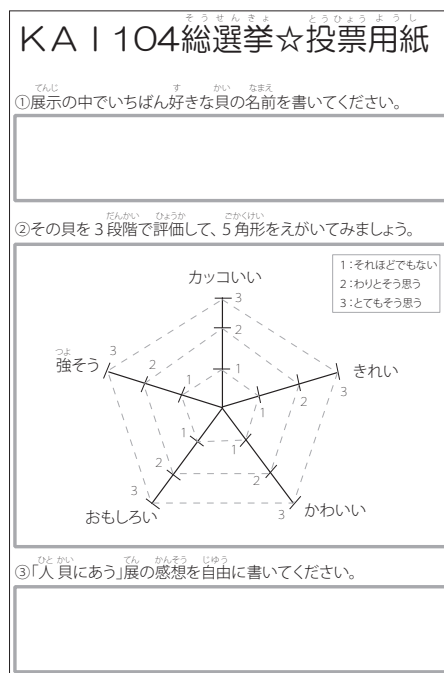


図 3 KAI104 総選挙の投票用紙

表1 KAI104 総選挙の投票結果

順位	和名	貝の説明	得票数	順位	和名	貝の説明	得票数
1位	テンシノツバサ	優美な形の貝	27	11位	ニホンケシガイ	小さな貝	7
2位	インドアオイガイ	美しい模様と優美な形の貝	26		ヒョクガイ	小さな貝	7
3位	カワムラニンギョウボラ	河村さんに献名された貝	23	12位	リュウグウオキナエビス	オキナエビスガイのなかま	6
4位	ナンヨウダカラ	色艶の美しい貝	20		オウムガイ	色彩変異の標本	6
5位	クジャクアワビ	美しい光沢のある貝	17		オオベニシボリ	美しい模様の貝	6
6位	モイロオトメフデ	小さな貝	13		コガネリュウグウボタル	色艶の美しい貝	6
7位	モロッコボラ	大きな貝	11		ショウジョウガイ	優美な形の貝	6
8位	オオサマダカラ	通常より大きな標本	10	カワムラカセン	河村さんに献名された貝	6	
8位	テンロクケボリ	小さな貝	10	13位	ゴホウラ	弥生時代の貝輪の材料	5
	オオジャコ	大きな貝	9		ハチジョウダカラ	妊婦さんの御守	5
9位	セトモノガイ	白磁のような貝	8		ホシダカラ	通常より大きな標本	5
10位	ガンゼキバシヨウ	優美な形の貝	8	ダイオウイトマキボラ	大きな貝	5	

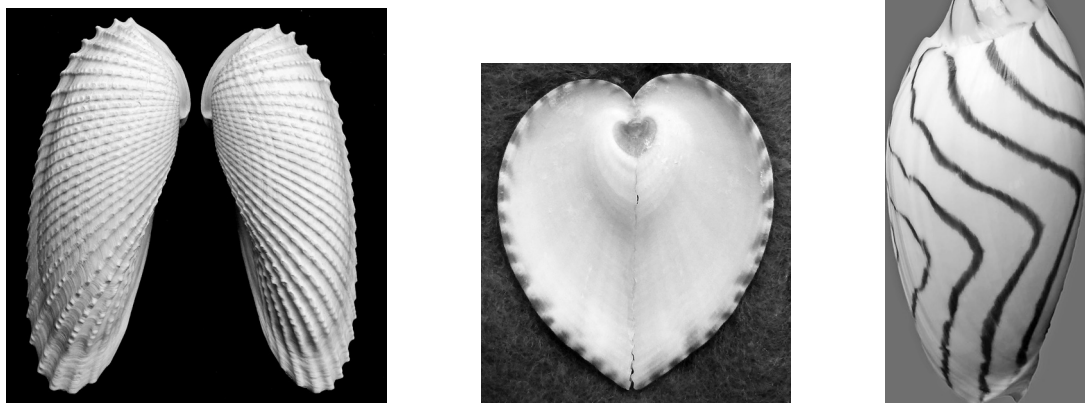


図4 1～3位の貝 左からテンシノツバサ、インドアオイガイ、カワムラニンギョウボラ

クシヨンを中心にたくさんの貝を展示したことで、貝に興味をもってもらい狙いが受け入れられたと思う。

また、コレクションの寄贈者である河村良介氏の人柄への賛辞や、人間の貝利用という展示内容について、これまで知らなかった利用法への驚きや関心も見受けられた。

さらに、要望や指摘もあった。例を挙げると、「もっとたくさんの貝が見たい」、「触れる展示があったら良い」、「展示の仕方をもっと工夫したらよい」、等であった。また、2017年にサザエが新種と判明し、学名の命名年と命名者が変更されていたにもかかわらず、パネル中に例としてサザエの古い学名を挙げていたことへの指摘があった。展示担当者として見落としていたことを、この場でお詫びしたい。

おわりに

ここでは全てを紹介できないが、多くの貴重な感想や意見を頂いており、今後の展示の参考にさせて頂きたい。

最後になりましたが、観覧して下さり、投票・感想・意見を頂いた方々に感謝申し上げます。

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

研究紀要

第 13 号

発行年月日 2018年3月
編集・発行 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム
〒759-6121 山口県下関市豊北町神田上 891-8
TEL 083-788-1841
FAX 083-788-1843
印刷 藤井印刷株式会社
〒750-0009 山口県下関市上田中町 5-6-24
TEL 083-231-1612
FAX 083-222-8611
